文学研究科　日本語日本文学専攻（博士後期課程）

			1年	2年	3年
DP1：知識・理解	1-1	日本の言語・文学・文化に関する専門的な知識を修得している。	日本文学史研究		
	1-2	人文・社会・自然に関する広範な知識を体系的に整理・理解し、日本語・日本文学の諸問題をその知識体系において把握している。			
	1-3	高度にして体系的な知識を複数の異なる視点から把握し、現象を多様な価値観の下に捉えている。	特別演習Ⅰ →	特別演習Ⅱ →	特別演習Ⅲ
DP2：技能・表現	2-1	すぐれたプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付けている。	日本語学演習Ⅰ 日本語学演習Ⅱ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ 日本文学演習Ⅲ		
	2-2	大学院における学修の成果を活用することによって、学会等を含む社会での諸活動を牽引することができる。	特別演習Ⅰ →	特別演習Ⅱ →	特別演習Ⅲ
DP3：思考・判断	3-1	日本語・日本文学に関して身に付けた専門的知識を捉えなおし、批判的に考察するとともに、新たな学説を生み出すことができる。	日本語学研究Ⅰ 日本語学研究Ⅱ 日本文学研究Ⅰ 日本文学研究Ⅱ 日本文学研究Ⅲ 日本文学史研究		
	3-2	日本語・日本文学の学習に基づく知性と感性によって、論理的・実証的に思考する能力および状況判断・問題解決の能力を備えており、その能力を活用して新たな知の地平を切り開くことができる。	特別演習Ⅰ →	特別演習Ⅱ →	特別演習Ⅲ
DP4：態度・志向性	4-1	日常生活の中で大学院での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保ち続けることによって、後進の亀鑑となることができる。			
	4-2	広範で体系的な知識、豊かな感性、しっかりとした倫理観に基づき、家庭・事業体・地域社会・国際社会において自らの役割を自覚しながら使命を全うすることができる。	特別演習Ⅰ →	特別演習Ⅱ →	特別演習Ⅲ

※複数領域にまたがる科目は破線枠で囲んでいる